

# 宮地小だより

「み」みんななかよく 「や」 やりとげよう最後まで 「じ」 自分からすすんでがんばる宮地っ子



文責  
八代市立宮地小学校  
校長 嶋村 立馬

## みんな笑顔の氷室祭!!

今週からいよいよ6月、1学期も後半を迎えます。今日も快晴だったので、朝から子どもたちの元気な声が運動場に響いていました。そして本日、これからの季節に向けて風水害の避難訓練が行われました。天候が急に変わる異常な気象状況が昨日もニュースで流れていましたが、天候の急変などへの備えはしつつも、子どもたちが安心して登下校ができるよう願うばかりです。

5月31日から6月1日にかけて、妙見宮で氷室祭が開催されました。氷室祭の起源は、江戸時代に、八代で隠居生活を過ごす細川忠興公の夏越の無事を祈って、住民の皆さんが三室山に氷室を作って、冬の雪をここで貯えて、この日に献上したのが始まりだといわれています。この日も、無病息災を願う多くの人たちが参拝に訪れ、



駐車場となっていた宮地小の運動場もあっという間に満杯になりました。今年の氷室祭はたくさんのお店が出ていて、子どもたちもとても楽しみにしていたようです。「今日はお祭りに行きます。楽しみです。」と話してくれる子どもたちもいました。境内でも、ご家族と参拝する子どもたちや浴衣姿の子どもたち、友だちと出店を一軒ずつまわる子どもたちと出会いました。それぞれがお祭りを笑顔で楽しんでいました。当日は、PTA役員の皆さんには、子どもたちの見守りをしていただき、子どもたちも安心してお祭りを楽しむことができました。本当にありがとうございました。

6月から始まる「みやじ学」では、中学1年生と小学5・6年生がグループに分かれ、宮地の歴史や文化、人々の取組について、地域から学んでいきます。氷室祭をはじめ、宮地地域の皆さんが大切に守ってきた文化を学ぶとともに、地域の祭りを見て体感することで、多くの子どもたちがふるさとである宮地の良さや素晴らしさに気づいてくれることを願っています。

## スポーツテストが行われました

先日、全校でのスポーツテストが行われました。現在、小学校で行われていた部活動がなくなり、それにコロナ禍が重なることで、子どもたちの運動離れが懸念されています。

スポーツテストの結果については、しっかりと分析し、宮地小の子どもたちの体力面での課題については、体育の授業を通して改善に努めていきます。また、外で元気に遊ぶ外遊びの経験を積ませることが、子どもたちの体力向上に、とても大切になってきます。

学校でも、みんなで外遊びをする機会を作っていきたいと思います。そして、一人一人が外で遊ぶ楽しさを感じ、体力をつけていってほしいと思います。

